



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL.51

2014. 3

平成26年3月

三木市国際交流協会

ことばの教室ジョイントミーティング

2014/3/9
教育センター大研修室

1年間の集大成！

ことばの教室を受講されている会員の方々が一同に会し、1年間の成果を発表しました。この教室は1996年英会話2クラスで発足し、皆様のご協力を得て、5か国語12クラスへと発展しました。現在、日本語クラスで学習する外国人50名以上を含む、200名以上の方々が受講されています。

受講生の方々は旅行や仕事など様々な目的のために切磋琢磨されており、言語習得は言うまでもなく、親交を深める“交流”的な場となっています。2014年度も引き続きご受講いただきますようお願いします。



COOL MIKI（三木ってかっこいい！）を三木山森林公園で開催しました。今年で4回目のこのイベントはすっかり定着し、客席は老若男女でいっぱいです。外国人の姿も見られます。日本人には馴染みのある伝統芸能の落語ですが、外国の方々の目にはどのように映ったのでしょうか。一人で何役もこなすその話芸や話の才の面白さに、生真面目でポーカーフェイスと見られがちな日本人のイメージが変わったかもしれません。外国人演者の中には三木での出演回数が二桁に届くほどの三木好きがおられ、観客の中には彼の落語の上達を楽しみにされている方もいます。

温かい心の交流は2部の「日本語de発表」でも続きました。1部で起きた笑い声が2部では感嘆の声となりました。「頑張って日本語を勉強している様子に感心した」「外国人の方の助けになりたい」「外国の話が興味深かった」「感動した!」などの数々の温かい言葉をいただき、支援している日本語ボランティアの方々の励みにもなりました。



▲ 演者とサイン色紙を手にする観客の方々



▲ お楽しみのお座敷遊び体験 ▽



A1144◆福田 妃見子

1年に1度開催される英語落語にファンは徐々に増え、市外からの来場者も多数あり、大盛況でした。3か国、4人の演者が出演しました。笑顔がさわやかな加奈出庵クリス（カナダ）の擬態語入りの話、次は、演多亭卵酢（カナダ）による古典落語「たいらばやし」の外国人版、英語の苦手な日本人との掛け合いの話でした。そして、桂福丸（日本）による古典落語「天狗さばき」と続き、休憩後、ダイアン吉日（イギリス）が古典落語「時そば」をダイアン風に変えた「時たこやき」の話を演じられました。話はもちろんのこと、所作や表情が個性的で面白く、大いに笑わせていただきました。外国人による落語はどこか故・桂枝雀さんを彷彿させるものでした。

サイン色紙を獲得できるお楽しみでは、観客の方も参加、「お座敷遊び」を体験され、大いに沸きました。

英語落語は、英語学習の一手段として最近はメディアでも取り上げられ、大学などの教育現場でも開講されています。“第2言語習得”は脳の活性化、“笑い”は免疫力の向上と言われ、一挙両得のイベントだと思いました。

2部の「日本語de発表」では5人の外国人の流暢でバイタリティ溢れるスピーチに感心、共感を覚えました。とても楽しい1日でした。



▲ 外国人発表者と日本語ボランティアの方々

A1467



(ペルー)

「日本で頑張ります！」

2003年、日本人の父から話を聞いていた憧れの日本へ来ました。2013年から三木市に在住。子どもの学校からの配布物が読めず、忘れ物をさせるなど辛い思いをさせたことがあります、私の宝物、子どもたちのためにも日本で頑張ります。

熊川 春美

A1487



(中国)

「三木で暮らして思ったこと」

2012年3月来日。母国の大連を休学し、日本の食品関係の会社で研修中。日本語が話せないころの失敗は、電車でお年寄りに席を譲ったとき「さわってください」と言ってしまい、大笑いをされたことです。お給料を貯めて、大学で勉強、卒業後は大使館に勤務することが私の夢です。

支 運蒙

A1247



(スーダン)

「私の大きな夢」

1994年来日。4人の子どもの父。20年前母国で医療検査技師になり、能力向上のため来日。言葉の壁や経済的なこと、就労中の事故で1年間の入院生活などさまざまな苦労を妻と共に乗り越え、今は帰化の申請と検査技師になる夢のため日本語を猛勉強しています。

カーリッド オスマン ハサン

A1470



(ネパール)

「三木市の小学生になって」

2013年4月来日。小学5年生に転入しました。日本の小学校には運動会や音乐会があって楽しいです。日本語がわからなくて困っていると優しい友達が助けてくれました。お父さんとお母さんと一緒に暮らさせて嬉しいです。将来は宇宙飛行士になりたいので、理科の勉強を頑張ります。

A1463



(タイ)

「家族と三木で暮らすこと」

2002年10月来日。母国では各家庭に国王の写真が飾られ、毎日定時に国歌が流れます。曜日によって色が決まっていて、木曜日生まれの私はオレンジ、主人は青です。日本人と結婚したころは様々な違いに戸惑いましたが、家族の支えもあり、今は3人の子どもに恵まれ幸せです。

中尾 プラパッソン



(中国)

「日本と中国の絆—異文化交流の大切さ」

2013年3月来日。子どものころ、父が日本へ出張の際、アニメをよく買ってってくれました。その影響で日本文化や言葉に興味を持ち、大学でも日本語を専攻しました。在学中に関西弁も習得しました。日中は一衣帶水。お互いの歴史や文化から学ぶことは多くあると実感しています。

関西国際大学留学生
崔 駿斌

楽しかったクリスマスパーティー

2013/12/14
みっきいホール

約50名の外国人と110名の日本人が一同に会する中、琴と三味線の演奏、洋と和のコラボレーションでクリスマスパーティーが始まりました。五本上副会長の挨拶に続き、北井副市長と山本教育部長にご祝辞をいただきました。竹中理事に乾杯の音頭を、司会進行は片山式子、寺田ゆみ、ALTのヴィクトリア・コールソンとサマンサ・チャンの4人の会員の方々に日本語と英語でお願いしました。

お茶席で熱心に作法や袱紗捌きを習う外国人の姿、恥ずかしそうにお互いの着物やサリー姿を見る人々、母国の民族衣装で話の輪に加わる人々、再会を喜ぶ人々、それぞれ思い思いに楽しんでおられます。ALTのマシューがベースを担当するゲストバンド「Sailor's Radio」がポップスからしっとりとしたサウンドまで様々な曲を奏でられました。

お茶席の接待は中筋洋子さんグループ、着物の着付けは岩崎和子さんグループ、サリーの着付けは中西眞佐子さんグループにお願いしました。ご協力ありがとうございました。

*ALT=学校で外国語を教える外国人先生



三木小学校4年 岩谷 春佳

私は、三木市国際交流協会のクリスマスパーティーで中国人ハーフ、ブラジル人ハーフ、インド人、私の妹と私の5人で「にんじやりばんばん」を歌って踊りました。その女の子たちのお母さんも私のお母さんも日本語教室で勉強しています。待っている間に友達になって、15日の『世界のど自慢』に出るために何回も練習をしていました。

お母さんは、ボランティアの人々にバングラデシュの赤いサリーを着せてもらって、金銀のブレスレットもつけてもらいました。よく似合っていました。妹と隣の部屋に行くと、着物を着た外国人がたくさんいました。友達のお姉ちゃんも着物を着ていて、とてもきれいでいた。

先生が「にんじやりばんばん」の衣装を着せてくれました。お化粧もしてもらって、いよいよ本番。ステージに立つと人がいっぱいだったけど、私はちょっと“ドキッ”としただけで元気よく歌えました。パーティーに参加して友達ともっと仲良くなったり、みんなで食事をしながら交流して、とても楽しかったです。



第3回国際理解講座「エルドラド伝説の国・コロンビア」2014/1/26 三木市役所大会議室

～JICA青年海外協力隊に参加して～

A1461◆藤井 達夫（日本語ボランティア）

【首都】ボゴタ
【人口】約4,600万人
【言語】スペイン語
【面積】114万km²
【時差】-14時間（対日本）
【国旗】
■ 黄：富や黄金
■ 青：美しい空と海
■ 赤：独立のために流した血（愛国心）

【通貨】コロンビアペソ（100円=2000ペソ）

【概要】南米大陸の最北に位置しており、西に太平洋、北にはカリブ海に面しています。国土の中央にはアンデス山脈が国を縦断しています。南東地域はアマゾンに属しています。多様な地理環境があるコロンビアは世界第2位の生物多様性の国です。主な産業に「コーヒー」「花卉産業」があり、どちらも日本と馴染みが深いです。



【首都ボゴタ】ボリーバル広場。旧市街地に囲まれたこの地域は、政治の中心となっており、人口約700万人の大都市です。観光地としても多くの人が集まる場所です。危険な国コロンビアとして世界的に知られていますが、近年は、国家警察が街中には多く、国を挙げて治安改善に取り組んでいます。ただ、油断は禁物ですけどね。

【黄金細工】先住民族が太陽信仰の儀式に黄金を捧げていたことが、伝説となり、ヨーロッパに広まりました。そしてコロンビアの都市を築くと同時に探検が始まり、1930年ごろまで続いたようです。今では、その黄金を黄金博物館で見ることができます。2008年に修好100周年を記念して黄金細工4万点が日本で展示されました。



【コーヒー】私が住んでいた町マニサレス（カルダス県）は、コーヒー畑が広がる町としてその景観が2009年に世界遺産に登録されました。世界第三位のコーヒーランドとして街中で気軽に安く飲めます。日本でもコロンビアのコーヒー豆を使った缶コーヒーを多く見かけます。左の写真は、イメージキャラクターです。



【コロンビアのアマゾン川】最南端に位置する陸の孤島レティシア。空路でしか行くことのできない町。空港を降りると大自然とアマゾン川に魅了されます。様々なアクティビティを体験することができ、運がよければ岸から川イルカを見ることもできる場所です。



【活動内容】バスケットボールの指導者として「スポーツを通じて青少年活動の育成」と「指導者の養成」を目的に活動しました。当初は、文化や考え方の違いに戸惑い悩みましたが、バスケットボールを通じてできたコロンビア人の友人の支えがあり、活動場所を広げ学校の体育の授業まで行い、多くの子供達と接し、たくさんの笑顔をもらい充実した活動をすることができました。

Viva Colombia!

姉妹都市交流 PENPAL PROJECT 始動！

2013/11/2~11/3

1966年、三木市はアメリカ合衆国カリフォルニア州バイセリア市と姉妹都市提携をし、現在に至るまで様々な形で交流を続けています。このたび、バイセリア市のボブ・リンク副市長夫妻のご提案で、**三木市立別所小学校5年生とバイセリア市立コーニャー小学校4年生が文通**することになりました。三木に届いた初の手紙に、児童たちは未知の国、町、そしてそこに住む子供たちを想像し、瞳をきらきら輝かせ見入っていました。近日中に三木の良さと児童の思いがいっぱい詰まった手紙をバイセリア市へ送ります。

5年1組 中本 紫那

ぼくは、コーニャー小学校に500人というたくさんの生徒が通っていることがすごいと思いました。映像で初めて外国の小学校を見たので、すごく驚きました。ぼくも英語をしっかり話せるようになって、コーニャー小学校のみんなとしゃべれるようになりたいです。そして、今までよりも交流を深めていきたいです。

5年1組 藤坂 日奈恵

私は、コーニャー小学校とのペンpalプロジェクトを通して交流し、外国について興味を持ちました。特に、コーニャー小学校からの手紙で思ったのは、コーニャー小学校と別所小学校が似ていることでした。コーニャー小学校も楽しいと言っていたし、別所小学校もみんな笑顔で、楽しいからです。これからも外国文化に触れて、もっと外国のことを知りたいです。そして、日本文化についても知ってもらいたいです。

5年2組 岡部 堅志

ぼくは、ペンpalプロジェクトでコーニャー小学校に手紙を書いていてワクワクしました。外国人の人たちと一緒に文通ができるなんて、すごいなあと思いました。ぼくたちの班は、「学校の授業と人数」について書きました。1年や2年の時にあった「図書」や「生活」という内容は3年から無くなるので、なつかしいなあと思いました。コーニャー小学校の授業はどんな内容かなとも思ったりしました。別所小学校の人数は299人というのは、正直ぼくはあまり知りませんでした。その文章を書こうとした時、一人心の中で「あ！ うんや…」と思いました。もし外国に行くがあれば、外国人と文化交流を深めたいです。



国際料理教室「プロに教わる ネパール料理」

2014/2/23

三木南交流センター

講師：パタクチェトリ ガンデップクマル（ネパール出身・在日5年）



A1095◆古山 佐知子

海外で10年以上コック修行された講師を迎える、本格的なカレーとナン作りに挑戦しました。

最近、店頭でも目にするガラムマサラ・クミンなどの他、カストリメティという珍しいスパイスを加えると室内に芳香が漂いました。自分たちで形成し、専用釜で焼いたナンは、格別おいしく感じました。日本人の口に合う味付けで、家族にも作ってみようと思いました。

A1181◆池田 典子（日本語ボランティア）

10月30日～31日、東日本と西日本の2か所で開催の第1回研修に参加いたしました。自治体の国際関係事務局、日本語学習支援のボランティア、NPO法人の日本語教師など、違った立場から意見交換するなかで、それぞれが抱える問題点が顕在化し、ボランティアとしての取り組み方への甘さ、事務局側の悩み等に気づきました。自治体の枠を出て、違った視点で日本語支援について考える機会をいただいたことで、いくつか課題が見えてきました。それらを当協会に持ち帰り、日本語学習支援ボランティアの皆さんにアンケートをお願いしました。ご協力頂いた回答をもとに、日本語クラスをさらに有意義な場とするための情報共有への準備に取り組んでいるところです。

外国人のための防災研修

（危機管理課による出前講座）



▲自然災害から身を守る「防災」について研修を受けました

「日本語教え方教室」に出席して

2013/11/6～2014/1/22

A1476◆鈴木 ゆきえ（日本語ボランティア）

関西国際大学飯島有美子准教授の6回にわたる研修を受講しました。当協会の日本語ボランティア心得にある“ボランティアといえどもプロの心構えで”的意味を理解することが出来ました。とはいっても未経験の私には入口のドアを少し開けただけ…ですが、先輩方のアドバイスや実際の状況設定（外国人学習者と日本語ボランティア）のロールプレイは、熱意はあるけど今ひとつ掴めていない私には大変参考になり、印象に残りました。

言葉も何も分からず日本に来られた外国人の心境に少しでも寄り添って、支援活動に活かしていきたいと思います。



NEW FACE ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

バンダリ シタ クマリ ネパール出身
2013年来日



A1489◆澤田 静香（日本語ボランティア）

シタちゃんは、とてもがんばり屋で明るい女の子です。毎週、会話はもちろん書き取りも一生懸命勉強しています。会話が通じずにもどかしい時も、諦めずに話してくれます。ネパールの話も聞かせてもらい、私も楽しい時間を過ごしています。これからも、もっと日本語を覚えてもらうお手伝いができたら嬉しく思います。

アッハマド シャティウイ シリア出身
2012年来日



ハイ アブド

A1395◆清水 みさを（日本語ボランティア）

既に学習している先輩の紹介で学習を始められました。次第に日常会話は覚えてきましたが、教室では「…です…ます」の表現や、ひらがな、カタカナを読む、書くなどの勉強をしています。時には、遠い未知の国、シリアの話をしてくれます。熱心に取り組む姿勢に私も学ぶことが多いです。

Events & Meeting

(平成26年4月～7月)

4月23日(水)	13:00	三木商工館	第1回理事会
5月12日(月)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話実用 年間30回
5月12日(月)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 日本語 年間29回
5月13日(火) 調整中	13:00 19:00	教育センター	ことばの教室開始 韓国語入門 年間30回 ことばの教室開始 韓国語初級 年間30回
5月13日(火)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 韓国語中級 年間30回
5月13日(火)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話中級 年間30回
5月14日(水)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話初級 年間30回
5月14日(水)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 NEWS IN ENGLISH 年間15回
5月15日(木)	10:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話入門 年間30回
5月15日(木)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 中国語入門&初級 年間30回
5月16日(金)	19:00	教育センター	ことばの教室開始 スペイン語初級 年間30回
5月23日(金)	10:00	教育センター	平成26年度総会・公演「生活に根づく音楽」DONIDONI
5月30日(金)	10:00	教育センター	ことばの教室開始 英会話表現活動 年間18回
6月20日(金)～26日(木)			「People like US～世界の若者・世界の子どもの笑顔～」展示
6月22日(日)	13:00	市役所大会議室	第1回国際理解講座「セネガルと、そして日本の笑顔のために」
6月下旬		事務局	MIA広報誌52号発行
7月	10:00	中央公民館	キッズイングリッシュ

三木市国際交流協会総会

10:00～総会

撮影：石田 徳明

11:00～「生活に根づく音楽」DONIDONI

～音楽を通して見えてくる、ギニア人の生きる力～

参加者／会員・一般



三木市教育センター・大研修室

5/23(金)

第1回国際理解講座

「セネガルと、そして日本の笑顔のために」

講師：藤岡美保子

(NGOボックジャンパール)



6/22(日) 13:00
市役所・大会議室

ホスト
ファミリー
募集!

外国人に開かれる
ボランティアをしてみませんか

外国人訪問者の受け入れ
外国人住民相談
日本語学習支援など

*会員登録が必要です

英語などの外国语が出来なくても大丈夫！
“おもてなし”は世界に誇れる精神です。
小さな外交官として外国人と交流し、
さらには、若者が海外へ目を向ける一端を
担っていただけませんか。

よろしくお願いします！！

「別所公春まつり」武者行列

甲冑姿やお姫様姿の外国人が行列！



集合・出発場所

金城館

5/5(月・祝) 13:00

参加
外
國
人
募
集
中！

編集あとがき



お陰様で2013年度の活動を終えようとしています。ご協力に心より感謝申し上げます。
各々の事業で様々な国の方々との新しい出会いがあり、交流の輪が広がりました。ことばの
教室「日本語クラス」には外国人学生が参加し、一般的の外国人も大いに刺激を受けています。
彼らを支援するボランティアの方々は「教えることは学ぶこと」をモットーに前向きに取り組
んでおられます。

国際交流・多文化共生の実現は一朝一夕にはできません。このような草の根レベルでの地道
な活動を継続してまいりますので、今後ともよろしくお願いします。

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] http://www.city.miki.hyogo.jp/